

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 30 年 1 月 8 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470203492		
法人名	アイエルエス株式会社		
事業所名	グループホーム太陽		
所在地	広島市佐伯区利松三丁目25-42		
自己評価作成日	平成30年11月26日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2018_022_kani=true&JigyosyoCd=3470203492-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成30年12月27日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

いつまでも元気で、長生きをして頂く事を基本にし、個別ケアを中心に残存能力をいかしての生活を心がけています。一人一人が安心して生活できる様に医療との連携も密に取り、より多くの方の声に応えられる様に体制を整えています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

開設して14年の歴史を数え、3年前に近隣から現在の場所に新築移転。夏にはホテルの飛び交う八幡川のせせらぎと、緑の山々に囲まれ、交通量の少ない川岸は、（八幡コミュニティー指定地区）利用者に最適の散歩道となっている。幹線道路から少し入った場所に位置し、家族の来訪にも至便で、近隣の幼稚園や保育園、障害者の支援施設との日常的な交流を深めている。

事業所の母体法人は、広島市内にサービス付高齢者住宅の運営のほか、他県にも関連事業を展開しており、職員同士の応援体制のほか、研修体制も共有化している。また、利用者一人ひとりをしっかりケアするために、医療との連携を強化し、看取りにも力を入れている。さらに、時流に応じて、「ブログ」を使った情報発信を先行し、事業所の活動を周知させており、離れて暮らす家族にも利用者の日々の様子を観察できるよう情報システムにも工夫を凝らしている。

自己評価	外部評価	項目(A B)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「終の棲家として安心して暮らしている様ご利用者の尊厳を大切にして生活のパートナーとして支えていきます。」との理念を掲げて朝の申し送り等話題に出して確認している。	経営理念にもある「終の棲家」として、どのような支援を行っていくか、介護の場面ごとに、管理者から職員に語りかけている。職員間で基本認識のずれが生じないよう、声かけを励行し、理念の共有と実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に入っており、老人会に誘っていただいたりしています。週一回のいきいき体操の場所提供をしている為地域の方と一緒に体操をして交流している。	地域の幼稚園や保育園、障害者施設と日常的に交流のほか、市の「いきいき100歳体操」の会場として事業所を地域住民に開放している。また、地域の病院からリハビリの指導を受けたり、筋力テストをしてもらうなど、利用者のサービスに結び付けている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域支援事業所の方や民生委員の方にお話しさせて頂いている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回の会議を開いている。	運営推進会議では、事業所内の活動を報告しているほか、参加している地域包括支援センターの職員を通じ、センターが行う研修依頼にも協力したり、訪問看護ステーションの職員からは誤嚥防止や水分補給のアドバイスを受けている。また、毎回利用者自身の参加もあり、意見などの発言がある。	会議では、事業所内の活動を報告のほか、参加の地域包括支援センターの職員を通じ、センターが行う研修依頼にも協力したり、訪問看護ステーションの職員からは、誤嚥防止や水分補給のアドバイスを受けている。毎回利用者自身の参加もあり、率直な発言も見られる。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	福祉担当の方などと、病院受診等の容態等について連絡をとり、連携を保っている。	地域包括支援センターや介護保険担当部局、生活課等とも連携し、成年後見制度の市長申立が円滑にいくよう手助けを行ったり、「かけはし」などの制度の運営や普及にも協力することで、利用者の生活が維持できるようにしている。	

自己評価	外部評価	項目(A B)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束のマニュアルを作成し、防止に向けた規定を策定している。玄関は、夜のみ施錠している。	身体拘束予防のマニュアルをもとに、ベッド柵が拘束につながらない配慮や入居前に拘束が行われていた場合であっても、介護の工夫により拘束にならないようにしている。仮に家族から拘束の要望があったとしても、家族と十分話し合い身体拘束にならないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見 overs されることのないよう注意を払い、防止に努めている。	虐待防止のマニュアルを作成し、周知に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見人を申し込んで、認定されました。社協の「かけはし」を利用させて頂いておられる方もいる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の際は、十分に時間を取り、不安や疑問が残らない様説明し、質問に答えている。納得がいった上で、契約をさせて頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	契約者に苦情申したてのできる窓口を設置し、申し立てによって、利用者にも不利益な扱いを行わない事を説明している。	運営推進会議に利用者が参加し、直接意見を述べているほか、日頃から「買い物に行きたい」などの利用者意見を取り入れている。また、家族面会時にも意見や要望を取り入れるなど、利用者や家族からの意見聴取に努めている。	

自己評価	外部評価	項目(A B)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>申し送り等、又は個別で意見を聞く様にしている。</p>	<p>職員の増員による利用者の外出頻度を高める試案など、運営に関する改善提言が多い。例えば、散歩の際に介助方法を工夫して、職員一人で二人の利用者を見守るようにした事例や、今できる範囲内で最適なケアを実現させることで職員の意見提言を活発化させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は、勤務表等により勤務状況を把握し、管理者の報告により、職場の人間関係、やりがい等を理解している。また、マッサージチェアを置いたりして現場環境を整備している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>職員の教育計画書を作成し、社外、社内研修を実施している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>同業者のネットワークに加入しており会議、勉強会、交流会に参加している。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>担当のケースワーカーや、ケアマネージャー、家族と十分に情報交換し、周囲の環境をよく検討し、聴く機会を設け信頼構築に努力している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(A B)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>担当のケースワーカーや、ケアマネージャー、家族と十分に情報交換し、周囲の環境をよく検討し、聴く機会を設け信頼構築に努力している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>家族と十分に情報交換し、本人と周囲の環境をよく検討し、見極める事ができる様に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>家事等、日常生活上の作業を通じ、喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支え合う関係を築く様に努力している。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>面会時間を設けず、来たい時に気楽に来所して頂き、行事等にも参加していただける関係を築いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>希望に沿って電話、手紙等できる様に支援している。誰でもお部屋に泊まれる様に支援している。</p>	<p>家族との電話や手紙などの取次や、利用者本人と家族と一緒に映った写真を飾ったりしている。また、事業所からの手紙の中に、利用者の様子を写した写真を同封している。またいつでも家族が部屋に泊まれるよう家族対応にも配慮している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(A B)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	利用者同士の関係を把握する様に努めており、共同の作業等を通じ、支え合える様にしている。		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	希望により、相談等、支援出来る様に努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	日々のコミュニケーションを通じて、しっかり傾聴し、本人の希望、意向を把握する様に努めている。	利用者本人が運営推進会議に出席し、思いや意向を述べるほか、日頃から「行ける時に、外に連れて行ってほしい」という意見など、なるべく早く対応するようにしている。また、家族との外出もできるような支援体制をとっている。	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	関係者から、可能な限り情報をもらっている。又本人からも引き出せる様努めている。		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	毎日の記録の中に記録し、又スタッフ間の申し送り等で、現状の様子を把握する様に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(A B)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	本人や家族の意見を尊重し、スタッフの意見も取り入れて支援している。	利用者本人や家族の意見を反映し介護計画を作成し、職員は計画を見て利用者の状態を把握し、日頃から情報共有を図っている。また、職員の意見をもとに計画を修正するなど、チームによる介護計画の作成に努めている。	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	記録を工夫し、情報を共有しその都度計画を見直ししている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	一人一人をしっかり観察し、その都度柔軟な対応が出来るようにしている。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	警察、消防等の機関と協力している。ボランティアの方も少しずつ増えてきている。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	かかりつけ医と常に連携をとり、適切な医療を受けられる様になっている。	訪問診療は二つの医療機関と契約し、一度の訪問診療で数名の利用者の診察や週に数回医師が訪れ、利用者の急変時にもすぐに対応可能としている。訪問看護ステーションとも契約しており、皮膚科や歯科などの他科とも連携を強めている。	

自己評価	外部評価	項目(A B)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問看護ステーションと契約し、週1回の定期受診以外に24時間対応をして貰っている。常に相談連絡し、適切な看護をうけられる様にしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、主治医相談員等情報交換をしっかりとし、連携をとっている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	利用開始時に家族様としっかり話し合い、終末期における方向性を決めているが、その際にもう一度の確認をし、医療と連携を密にとり、支援に取り組んでいる。	事業所として、重度化と終末期における対応方針を家族に説明し、実際に重度化の際には、再度家族と話し合いを行い、看取りにも対応している。実際の看取り事例を経て、職員の介護力と自信の向上に結び付けている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変や事故発生時のマニュアルを作成し、周知に努めている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	資格をもった防火管理者を配置し、消防署に消防計画を提出している。年2回の消防訓練を実施し、民生委員の方などに声掛けをしている。	主に、火災を想定した避難訓練では、消防の指導も踏まえ、ベランダに避難する訓練を行っている。水害に備えては、備蓄品は二階に保管したり、近隣施設との協力関係を構築している。	

自己評価	外部評価	項目(A B)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	管理者が全職員の接遇を観察し、適時注意を払っている。	入浴時やトイレ介助時に、ドアを閉めるよう指導のほか、周囲を見ながら声掛けを行うなど配慮している。リビングとトイレの区分けを意識した構造となっており、利用者のプライバシーを損なわない対応に心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	個々に希望を聞いたり、引き出せる様コミュニケーションを図っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	食事や昼寝の時間等、希望や日々の体調に応じて、個々に対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	必要の衣類等ご本人様と一緒に買い物にでたり、起床時希望確認している。理美容についてもご本人様の意思で自由に選んで頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事レクなど定期的に行っている。ご利用者様と一緒に食材を切ったり、片付けをしたりと協力して行っている。	食材は専門業者より購入しているが、週二回程度、利用者と共に手作りの料理をしている。味噌汁の大根を切ったり、いなり寿司、もやしの根切りなど利用者が手伝っている。外食にも出かけ、日頃少食の利用者には、雰囲気を変えて、食欲増進を図り、栄養補給に配慮されている。	

自己評価	外部評価	項目(A B)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	食事や水分の摂取量を記録し，毎月体重測定をし，健康管理に注意を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後口腔ケアをご本人様と共に行い，週1回の訪問歯科による口腔ケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄の時間を記録し，パターンや習慣を把握し，誘導，声掛けに努めている。	排泄記録表を用いて排泄パターンを把握し，適切な時間にトイレ誘導ができるよう工夫している。併せて，水分量の摂取状況を把握管理をして排泄の自立支援に役立っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。	水分をしっかり採って頂いたり，体を動かしたり，便秘予防をしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴の曜日や時間は決まっているが，個々の体調や希望に応じて柔軟に対応している。	入浴は基本的に週二回と予定されているが，利用者の希望に応じて，柔軟に対応している。入浴を嫌がる利用者にも，声掛け，誘導を工夫しながら，個々に応じた入浴支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目(A B)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>睡眠の状況を記録し、必要に応じて医師に相談し、よく眠れる様に支援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>薬の説明シートを保管し、情報を共有している。チェックシートに記入する様にしている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>個々にあった役割や楽しみがあり、継続できる様に支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>買い物に参加していただいたり、散歩に行ったりしている。2~3か月に1回の外食もさせて頂いている。</p>	<p>買い物や散歩など、外出の機会を多く設けている。皆で連れ添って外食に出かけ、その様子を写真に撮って家族に送付している。事業所のすぐ目の前の川沿いは、気軽に散歩がしやすい環境であり、天候の良い日など気軽に出かけることができる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>金銭管理が可能な方には、ご自分で管理して頂いている。一緒に外出し買い物をして頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(A B)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>希望があれば、電話、手紙のやり取りが出来る様に支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>落ち着いた雰囲気を演出できる様に光の調節をしたり、音楽を流したりしている。</p>	<p>事業所は木造の一軒家と同じ雰囲気醸し出す設営で、室内も清潔感のある暖色系で統一されている。床と階段には天然木材を使用し、木目調を強調した温もり感を持たせ、利用者が落ち着いて生活できるよう工夫がされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ダイニングテーブルとは別にソファを設置し、工夫している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>馴染みの家具、衣類等ご本人様が落ち着く様持って来て頂いている。</p>	<p>居室の換気は、毎日必ず行っており、居室の清潔を保つよう清掃等も行っている。また、居室内にはなじみの家具など使い慣れたものを持ち込むことが可能であり、仏壇を持ち込む方もいる。本人が居心地よく過ごせるよう工夫がされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>トイレ、口腔ケア等ご自分で出来る事は、見守りをし、出来るだけご本人様にして頂き出来ない事だけお手伝いさせて頂いている。</p>		

V アウトカム項目(A B) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム太陽

作成日 H・31・1・22

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を生かした取り組み	運営推進会議で出た意見を反映する。	議題を豊富にし、具体的な事例と共に協議する。	6ヶ月
2	14	同業者との交流を密にする	情報交換ができ、又協力し合える同業者を作りたい。	地域の交流会等積極的に参加する。	1年
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。